

健常者と障がい者のスポーツ・リクリエーション活動連携事業:競技団体モデル事業

島根県テニス協会(第28回島根県スポーツ・リクリエーション祭:テニス)

9月19日開催予定であったが、雨の為、11月3日に順延とした。開催当日は、気温が低いながらも晴天に恵まれ、滞りなく島根県スポーツ・リクリエーション祭が開催されました。今事業は、公益財団法人日本テニス協会が普及事業プログラムとして推進しています TENNIS PLAY&STAY プログラムを活用した「誰でも、どこでも楽しくテニスができる」をモットーに活動する事業です。県テニス協会が年間を通じて障がい者との交流事業の集大成としてこのスポーツ・リクリエーション祭を位置づけし、実施しています。

<概要>

○参加者 73名(内訳: 障がい者7名 未就学児12名 小学生30名 保護者24名)スタッフ27名 計100名

○内容 ①TENNIS PLAY&STAY プログラムに基づいたテニス教室

②エキシビジョンマッチ・ボレーボレーチャレンジ・ターゲットテニス

③障がいのあるかたとの交流事業

ジュニア親子 ボールスロー&キャッチ

キッズ親子 ランニングスロー 親子でウォーミングアップ



ジュニア ネット越しでのバウンドキャッチに挑戦



エキシビジョン 強化コーチ対テニレンジャー



○障がい者との交流事業

ジュニアはダブルスに挑戦



車いすでもボールをちゃんとコントロールできます



上手になった皆さん 現在、スタッフとシングルスでの対戦中



スタッフも参加者の皆さんも笑顔が溢れています。
工夫とコミュニケーションでラリーも成立します



ついにテニレンジャーに勝利☆



参加者の声①子どもたち、支援者がテニス活動を通じて（特に障がい者が生まれて初めてプレイでき）楽しくスポーツする喜びを知りました。意欲的に活動できるご指導をととてもうれしく思います

参加者の声②テニスの日を心待ちにしている仲間が多い。徐々に動きがよくなっている。終わると『楽しかった！』と笑顔が！コーチの方々に誉めてもらえるのが、とても嬉しいようです。運動の機会が増えて有り難いです。これからもよろしくお願ひします。

参加者の声③
障がいがあると何もできないと思われてた人達が開眼しました。スタッフパワーのお陰です、ありがとうございます。

We are thinking of you.

